

『必ず実現する聖書の預言』 エレミヤ書29章4～14節 2018.4.8(聖日礼拝説教より)

『わたしはあなたがたのために立てている計画をよく知っているからだ。…主の御告げ…それはわざわざではなくて、平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。』 エレミヤ書 29章11節

①書かれた言葉による導き…エレミヤの捕囚の民の帰還に関する預言(25章)を読んだダニエルは、『エルサレムの荒廃が終わるまでの年数が70年であることを文書によって悟った(ダニエル 9:2)』と語った!『聖書はすべて、神の靈感によるもの(Ⅱテモテ 3:16～17)』で、『昔書かれたものは、すべて私たちを教えるために書かれ(ローマ 15:4)』ている。神はこの時代、完結した預言である聖書を通して語られる!例えば、約2600前の捕囚の民への預言(エレミヤ 29:11)は、今の日本への預言ではないが、そこには、神が人に対して『災いでなく、平安と、将来と希望を与える計画を持つお方』とある。それは、永遠に不変の神の普遍の原則のはず!★皆さんは、聖書の言葉を通して、この神の永遠の愛(エレミヤ 31:3)を信じ、この方から日々の平安、将来と希望の御声を聴いているだろうか?

②聖書の原則の個人的適用…聖書には、「ローマ人への手紙」はあっても「日本人への手紙」はない!しかし、『異邦人』についての記載は沢山ある!日本人は『異邦人』!マタイ 6:31～32 やエペソ 2:1～12 にあるように、私たちは、「異邦人」の価値観にどっぷり浸かり、自分がどれだけ世の影響を受け、どれだけ御心から遠いかに気づかない。いつも心配なのは、この世の暮らし、人や自分のこと、不安を抱え、自分の欲に支配され、わがままに生きている。その中で、『失われた人を捜して救うために来た(ルカ 19:10)』との御声を聞く時、自分が人生(意味)を見失い、迷い、罪の中で滅びつつあったと気づかされ、この自分を滅びから救うために来られたイエス様を知る。そしてこの聖書が、命がけで私たちを愛してくださっている神の言葉だと知り、その聖書を通して語られている神の御声に聴き従う人生へと変えられていく!クリスチャンの証で、「導きを求めていたら、この御言葉が与えられた/御言葉に慰められたので、もう大丈夫」など聞かすが、多くの場合、その神の御声は、現実生活の中で働く!置かれている状況も起きている出来事も、何もかも違うが、持つべき信仰は変わらない!神が語られ、それが現実となると信じる!

★あなたも、日々聖書を通して御声を聴き、その御心に従い、「最高の自分」を生きる人生となりますように!